



星に願いを！そして、努力を 校長 若林 富男

7月7日は七夕。三者面談の日でしたので、当日の七夕活動はできませんでした。おうちでは、どんな七夕をなさったでしょうか。

10日の朝、七夕集会をしました。寸劇を組み込んだ七夕の話やクイズは楽しかったです。

古来から、七夕の願い事には、次のようなものがあります。織姫は機を織る（布をつくる）のが器用で上手。手習いがうまくなりますように。字が上手くなりますようにと願いごとをしました。

彦星は牛飼い。生き物の世話がきちんとできますように。よく働く人になれるようにと願いごとをしました。

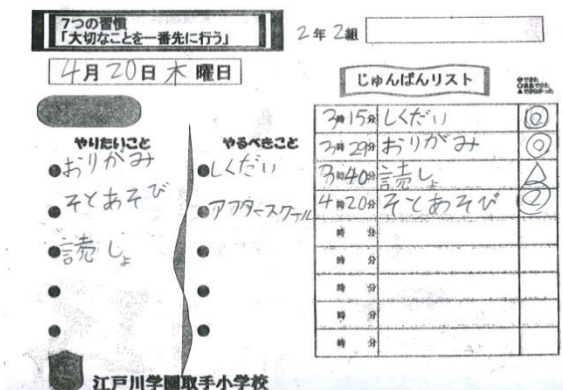
学童室の中にも笹竹があり、「願い事」の短冊と工夫して作った笹飾りが、たくさん結びつけてあります。短冊には「家族みんながしあわせになれるように」「おいしゃさんになれるように」「パティシエールになれるように」など書いてありました。



さて、これから先のことが大事です。短冊に「願い事」を書いて、天の神様に手を合わせてお願いしただけでは、願いはかないません。「願い事」の上達や夢の実現を目指して、今できることを考えて実行する「努力」を重ねることが何より大事なのです。「だから、～します」の添え書きがほしいですね。

えどとり学童は「自学習」を推進しています

学童室（共同学習室）に入ると、出席をとった後、「自学習の記録」を受け取って、その時間内に「やりたいこと」と「やるべきこと」を書き出した後、時間のめやすとやりたいことを決めて「じゅんばんリスト」に書き込みます。そして、自分の決めたことに力いっぱい取り組みます。終了間際に自己評価「◎できた ○まあできた ▲できなかった」を記入して提出します。ひらがなを習い終えたところで、1年生も6月から「自学習の記録」を書き始めました。



◆お知らせ◆

軽食をご持参される場合は、パンやマドレーヌなどの焼き菓子等に限りです。菓子類（クッキー、チョコレート、あめ、ガム）や生もの、惣菜パンなどの傷みやすい物をご遠慮ください。また、飲むゼリーなどの栄養補助食品は相応しくありません。

サマースクールの学童保育を利用される場合、お弁当には必ず保冷剤を付けてお持たせください。この期間は、軽食無しとします。